

千代田区と UR 都市機構が協働して 日本橋川の水質浄化の実証実験を行います

独立行政法人都市再生機構(以下、「UR 都市機構」)は、行政及び民間事業者の皆さまと連携して、日本橋川沿いの大手町エリアでのまちづくりを土地区画整理事業の施行者として20年以上にわたって推進してきました。

昨年度に続き、千代田区と協働して、日本橋川の水質改善効果を検証する実証実験を行います。本実証実験を通じた検討により、隣接する神田を含めたエリア一帯の魅力向上と地域資源である川端緑道・日本橋川沿いの賑わい創出を目指します。

1)実施期間 8月1日(金曜日)から 10月31日(金曜日)(予定)

2)実施場所 大手町川端緑道の一部(千代田区大手町 1 丁目 3 番・神田橋上流約 240m 付近)



位置図

© GeoTechnologies, Inc. 「PL21001」

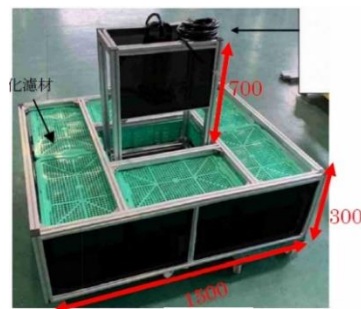
3)実施内容 大手町川端緑道の一部に培養タンクを設置するとともに、日本橋川の川底に浄化ユニットを配置して水質改善の効果測定を行います。

本実証実験は、令和5年8月から令和6年9月にかけて行われた皇居日比谷濠の実証実験で改善効果が確認された水質改善手法を応用したもので、本来の生態系が備える浄化バクテリアによる自然浄化機能を発揮できる環境をつくり、水質悪化の原因となる有機汚泥の分解促進を図ります。

昨年の実証実験により、浄化ユニットによる底質の改善が示唆されました。今年度は、昨年度の冬季調査で得られた傾向を夏季でも確認し、本実証実験の有効性を検証します。



配置イメージ



浄化ユニットイメージ

4)実施背景 千代田区の河川は江戸時代から物資の輸送が盛んで、川沿いの荷揚げ場に近接して問屋が建ち並び、その界隈は多くの人々で賑わい、文化交流が活発に行われていました。このような歴史的な背景を踏まえ、千代田区は日本橋川とその水辺を観光、産業、文化・芸術、環境、防災等多様な視点から見つめなおし、人々が身近に感じられる空間として再生することを目指しています。

東京都も「日本橋川周辺のにぎわい創出に向けた基本方針(取組方針 Ver.1)」を今年7月に策定し、水質改善により水に親しむことができる環境の創出を目指すこととしていますが、悪臭や汚泥が水面に浮上するスカムの発生など水環境の悪化が日本橋川周辺の現状と課題として取り上げられています。

お問い合わせ先

UR 都市機構 東日本都市再生本部 総務部総務課(広報担当)

電話:03-5323-0625

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR 都市機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

